

# 高速道路の利用法

高速道路を使えば、行動範囲も広がり移動も快適です。しかし重大事故を起こす危険も伴います。日本の高速道路では法定最高速度100km/hを厳守し、無理な追い越しをしないこと。また入口と出口に導入されているETCゲート付近では事故やトラブルが起こる場合があるので、慎重に運転してください。

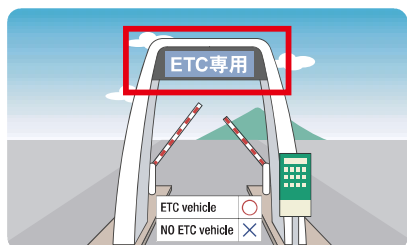


**ETCゲートは  
20km/h以下に  
減速して進入**

ETCは通行券や料金の受け渡しをすることなく、ゲートをノンストップで通過できるシステムです。高速道路入口や料金所手前にETCゲートを示す案内標識があるので、どのゲートに入るか早く決めて車線変更しゲートに進入しましょう。パーはゆっくり開閉するので、必ず20km/h以下に減速します。車間距離は十分に取って、ゲート直前での車線変更は厳禁です。なお、ゲート上の信号が赤になっている場合は利用できません。

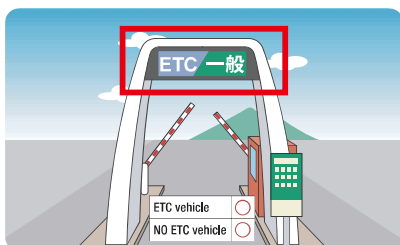
## ETCゲートは2種類ある

### ETC専用レーン



車がレーン内に入るとシステムが認識してパーが上がるので、必ず減速してパーが開くのを確認してから通過します。減速せずに進入し、パー直前で絶対にブレーキを踏むのは厳禁! 追突事故を招く危険があります。

### ETC非搭載車併用レーン



緑の看板に「一般」と表記のあるレーンはETC非搭載の車にも対応するレーンです。非搭載車はチケットの受け取りや料金を支払うために停車します。追突の恐れがあるので前方の車の動きに注意し、車間距離を十分取ってください。

## もしパーが開かなかったら



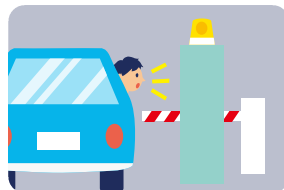
### バックするな!

バックすると後続車に追突される危険があります。



### 車外に出るな!

車から降りてレーン内や高速道路上を歩くことは大変危険です。絶対に車から降りないこと。



### インターホンで係員を呼ぶ

ETCレーンにインターホンが設置されているので、係員に連絡し指示に従って行動してください。

## 高速道路の案内標識はグリーンで表示

九州自動車道  
KYUSHU EXPWY

### 入口案内

高速道路へはこの標識で案内。高速道路の路線名と最寄りのインターチェンジがある方向を表示しています。

本線  
EXPWY

### サービスエリア・ パーキングエリアから 本線への入口

サービスエリアやパーキングエリアから本線に進入する方向を表示しています。誤って逆走する事故が増加しているためSAやPAから出発するときは必ず進行方向を確認してください。

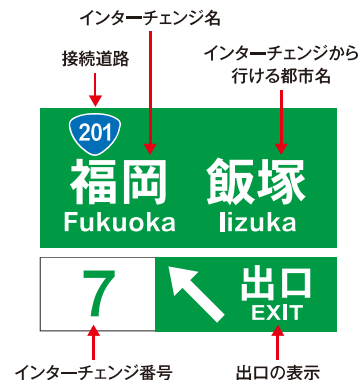
料金所1km  
TOLL GATE

### 料金徴収所

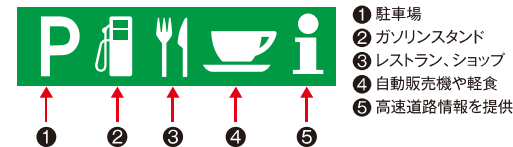
あと1km先に料金所があることを表示しています。下りるべき料金所を認識したら早めに左側に車線を変更しましょう。

### 出口案内

高速道路の出口付近に設置されています。降りるインターチェンジを間違えて通り過ぎてバックやUターンはできませんから、よく確認してください。



## サービスエリア・パーキングエリアの標識



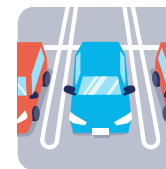
フォーク・ナイフやガソリンスタンドのあるマークはサービスエリアで、トイレやレストランなどの休息できる施設、ガソリンスタンドがあります。パーキングエリアには主に2種類あり、コーヒーカップのマークがある場合はトイレや軽食が食べられる施設、自動販売機などがあり、Pのみのマークはトイレと自動販売機などがあります。

## サービスエリア、パーキングエリアでのマナー・ルール



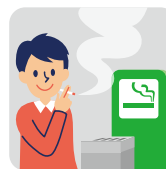
### トイレの使い方

使用したトイレトーパーパーは必ずトイレに流してください。トイレトーパーパー以外はトイレ内のサンタリーボックスに捨て、絶対トイレに流さないこと!



### パーキングスペース

大型車用駐車スペースや、身障者が乗車していない場合の身障者用スペースは利用してはいけません。また、スペース内では歩行者に十分注意し、徐行運転しましょう。



### 喫煙エリアを厳守

日本では禁煙エリアが厳しく制限され、レストランやショップ内では禁煙です。タバコは必ず喫煙スペースを使用してください。禁煙スペース以外の路上やトイレでの喫煙も厳禁です。



### 本線に戻る時、逆走に注意!!

サービスエリアやパーキングエリアから高速道路の本線に戻る時、うっかり進行方向と逆に向かってしまう事故が目立ちます。道路での逆走はとても危険!パーキングエリアから出る時は、本線への入り口を示す標識を確認して進みましょう。



**緊急事態が起こったら、まず警察と各レンタカー会社の 事故対応窓口へ連絡してください**

そのまま運転を続けると  
法律違反になり保険対象外になります。